

崇中学校区 小中一貫した教育 グランドデザイン

札幌市「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

9年間を通した子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒指導の連続性

4つの視点

教職員の連携・協働

家庭や地域との関わり

課題探求的な学習

2つの柱

発達の段階に応じた継続的な子ども理解

崇中学校区の学校が育てたい子どもたちの姿

- 自分や他者のよさを自覚し、認め合い、ともに支え合うことができる子ども
- よりよい生き方を目指し、よく考え、努力する子ども

学習のつながりを意識した授業の工夫

生きて働く知識・技術の習得に向けた授業の工夫

自分の可能性を信じ、高めようとする態度を育成する学習や取組

『分かる・できる』を実感し、学んだことを活用する学習や活動

知

徳

体

知性を磨き己を律する力

- ・自ら課題を持ち解決する力
- ・物事の筋道をたててとらえ論理的に考える力
- ・考えを工夫して表現する力

互いに敬愛し地域を愛する力

- ・自分の感性を大事にする心
- ・他者を思いやり、尊重する心
- ・美しいものや素晴らしいものに感動する心

健康でたくましく生きる力

- ・運動に親しみ、心身の健康の保持、増進に努める力
- ・食に対する正しい知識と自他の命を尊重し大切にする力

9年間を見通して実践する具体的な取組

- ・学習スタイルの統一
- ・学習のつながりを意識した授業の推進（交流・改善）
- ・自ら学ぶ意識と意欲を高める学習指導の工夫
- ・道徳、総合的な学習の時間等実態に即した教育課程編成
- ・学習評価の交流

- ・キャリアパスポートの継続と充実
- ・表現活動を通した振り返り活動（自己評価）の重視
- ・生活の決まりの共有と定着
- ・学校間の児童・生徒の交流推進、児童・生徒理解の共有
- ・よりよい環境、人間関係作り

- ・各校の特色を生かした運動の推進と交流
- ・保健、食指導の共有と徹底
- ・性に関する指導を通して、心身の健康の育成に努める
- ・コロナ禍における学習活動のあり方の工夫
- ・新体力テストの有効活用

- ・年間計画や行事の取組共有
- ・特別な支援を必要とする児童生徒の交流と引継
- ・ICT機器の活用、推進

本年度の取組の重点

- 小中学校の教員の交流を通して、相互理解と子どもの9年間の学びを大切に考える風土を醸成する。
- 児童生徒の交流を行い、中学校生活へのスムーズな適応を目指す。

家庭・地域との連携

～育てたい子どもたちの姿の共有～

〔家庭〕

- ・学校と家庭が連携した「居場所・絆」づくりの浸透
- ・家庭学習の取組推進

〔地域〕

- ・中学校区健全育成推進会との連携